

Medical Innovation by NCGM and Commons

開催レポート：第6回 海外医療機器の最新動向勉強会

2018年9月18日（火）、国立国際医療研究センター 大会議室にて、MINCの会「第6回海外医療機器の最新動向勉強会」を開催いたしました。行政機関、病院関係者、企業、医工連携関係者、53名の参加をいただきました。ご参加の皆さま、ありがとうございました。



■ MINCの会 勉強会について

国立国際医療研究センターと日本医工ものづくりコモンズでは、2017年秋より、海外医療機器情報誌の日本語訳版「Medical Globe」（株式会社カワニシホールディングス発行）から最新の記事の抜粋を資料として、情報共有をおこなう勉強会を定期的開催しています。

<http://www.kawanishi-md.co.jp/mg/index.asp>

■ 第6回について

- ・ 医工連携に関わる行政機関、経済産業省 医療・福祉機器産業室、厚生労働省 医療機器審査管理課、日本医療研究開発機構（AMED）産学連携課からご参加・ご挨拶をいただきました。
- ・ 勉強会は、前回に引き続き、国立国際医療研究センター（NCGM）医工連携推進室長の丸岡 豊 先生（歯科・口腔外科）と東京医科大学の福田 尚司 先生（心臓血管外科）を座長に、また医薬品医療機器総合機構（PMDA）より望月 修一 先生をコメンテーターとしてお迎えし、活発に議論をおこないました。
- ・ 記事については、原 久男 先生（循環器内科）、玉木 毅 先生（皮膚科）、多田 真奈美 先生（腎臓内科）にご参加いただき、症例や国内の現状の説明とともに、海外の最新医療機器についてコメントをいただきながら、参加者の皆さまとディスカッションをおこないました。



勉強会の様子

ディスカッション記事

- 【心臓血管外科・循環器内科】アボットの TMVI デバイス「Tendyne」、臨床試験で良好な成績を示す
- 【皮膚科】DTAMedical 社が非接触の創傷治療装置「VistaCare」の CE マークを取得
- 【腎臓内科】Pythagoras 社の腎交感神経を検知できる RDN システム「ConfidenHT」
- 【整形外科/歯科・口腔外科】推弓根プローブ「PediGuard」の SpineGuard 社が中国進出

記事紹介

- IDx 社、糖尿病網膜症の AI 自動診断ソフト「IDx-DR」の de novo 承認を取得
- StimGuard 社の OAB 治療用の植込み型 SNM 装置「StimGuard」



カワニシホールディングス

参加者からの声

- ✓ 専門分野の医師の意見が直ぐに聞けるのは、ニーズとして理解が深くなり、良い体制だと思いました
- ✓ 他社の方からの紹介で初めて受講させていただきましたお忙しい中、このようにすばらしい会を開催していただき、本当に感謝しております
- ✓ 2回目の出席ですが、大変面白いです



病院長 大西先生



日本医工ものづくりコモンズ

◇ 事務局より御礼

行政の皆さま、コメンテーターの先生方、多くの企業の皆さまにご参加いただき、誠にありがとうございました。前回に引き続き、関西地区と遠隔で結び、勉強会の視聴を試させていただきました。今後も改善をしながら、有意義な勉強会を継続していきたいと考えております。

第7回は、10月31日（水）18時より、国立国際医療研究センター大会議室にて開催いたします。